

安全・衛生・コンプライアンスを強化して職場に戻る

ポストパンデミックのビジネス再開には、安全で衛生的かつコンプライアンスを遵守した職場作りが重要です。では、どこから着手すべきでしょうか？

ステップ1：従業員の衛生管理を徹底する



新しい衛生管理のプロトコル（手順書）を作成して周知させる



厚生労働省や経団連、地方自治体、その他医療機関のガイドラインに従い業界特有の要件に対応する



監査に備える
 ・保全チェックリストやワークフローを自動化して、コンプライアンスを追跡管理する
 ・従業員のスキルセットや研修、資格を監視管理し、管理者承認をデジタル化する

ステップ2：予防保全スケジュールを見直す



優先度／接触頻度の高い設備機器の清掃、保全の頻度を増やす



必要なPPE（個人防護具）、消毒剤、その他安全用具を明確にして提供する



安全・衛生管理の業務手順を文書化する

ステップ3：リスクのある設備資産を特定する



安全で効率的な業務遂行に最も影響のある設備資産を特定する



リスク評価を実施して信頼性スコアを割り当てる



重要な資産を優先的に保全して、汚染と健康被害のリスクを低減する

ステップ4：変化する期待に備える



環境、健康、安全の頻繁な規制変更に対応する



100%準拠を目標ではなく要件とする



規制準拠、研修、認定、危険物取扱の状況をリアルタイムデータで報告できるようにする

ステップ5：予防保全から処方的保全へ転換する



急速に変化し続ける要件に適応する



あらゆる施設やサプライチェーンを統合し組織全体のコンプライアンスを確保する



過去の要因をシステムに反映する：障害分析、修理コード、保証規定OEM（相手先ブランド名製造）の要件など

さらに電子ブックでは、本トピックを掘り下げて、安全で衛生的な職場作りの具体的な手順を解説しています。

[電子ブックはこちら](#) →